

令和5年度 保護者アンケート

	年度 質問	年度比較(全学年)		
		令和 5年度	令和 4年度	令和 3年度
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	3.13	3.11	3.11
2	学校は、職員が協力,連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。	2.95	3.19	3.28
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。	3.04	2.83	2.87
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。	2.83	2.67	2.82
5	学校は、生徒の基本的生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	3.30	3.17	3.18
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。	3.36	3.47	3.39
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。	3.39	3.50	3.37
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。	3.22	3.06	3.10
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	3.59	3.25	3.30
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。	3.43	3.14	3.34
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。	3.13	3.06	3.20
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	3.35	3.20	3.26
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。	3.30	3.29	3.38
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。	3.39	3.23	3.34
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	3.39	3.40	3.31
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	3.48	3.37	3.34
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	3.35	3.49	3.34
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。	2.96	2.86	3.01
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	3.17	2.97	3.08
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。	3.22	3.09	3.12

(参考資料)

令和5年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部 / 科	係	分析結果
1	学校は、生徒の理解度に合わせた授業を行い、学力の定着を図っている。	教務	教務	例年と変わらない平均値である。今年度から本格的にタブレットを扱う授業が増えているので、タブレットをより有効に活用し、より一層、先生方の指導改善をする必要がある。
2	学校は、職員が協力、連携して、生徒の学習指導に取り組んでいる。			3年間で徐々に平均値が下がってきている。授業以外の主な学習指導として、朝10分程度の出工タイム時に中学校復習の「マナトレ」を実施しているが、保護者の方にわかりにくい部分がある。
3	学校は、宅習課題などを用いて、生徒の学習習慣を確立させる取り組みを行っている。			過去2年と比べると平均値が改善している。教科担任が宅習課題の内容・量を工夫したり、資格試験対策に向けての学習が習慣化されていると思われる。
4	学校は、生徒が図書館を利用したり、読書に親しんだりする機会を作っている。		図書・研修	令和3年度、令和4年度と比べると平均値が上がっている。引き続き図書たよりや図書館新聞等で図書館運営について紹介していきたい。
5	学校は、生徒の基本的な生活習慣の確立やマナー向上のための指導をよく行っている。	生徒指導	生活指導・交通指導	生徒指導に関する学校の指導に対して一定の評価をいただいていると考えたい。年度比較でも評価が上がってきているので、今後も継続していきたい。
6	生徒は、交通マナーや校則（頭髪・制服等）をよく守っている。			保護者からみた我が子や本校生に対する評価と捉えていいと思うが、比較的高い評価をいただいていると思う。 今後も家庭と連携して、規範意識の高い生徒を育てていきたい。
7	家庭では、子供の挨拶や身なりなどについて注意を払っている。			家庭でのしつけに対する自己評価が高いことがうかがえる。昨年度の平均値よりは低い例年並みに高い。「家庭ではしっかり躾けているので、学校でもしっかり頼みますよ。」というメッセージを感じる。
8	学校は、生徒が悩みなどを相談しやすい体制を作っている。		教育相談	過去2年と比べると平均値が改善されている。今後も保護者の方々が相談しやすい体制づくりがなされていると感じていただけるように、書面でスクールカウンセリング等の案内や保護者会や総会の際に係から説明の機会を設ける等の工夫を考えていきたい。

(参考資料)

令和5年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部 / 科	係	分析結果
9	学校は、生徒の進路について、学年に応じた適切な情報を提供している。	進路指導	進路係・就職進学科	「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、昨年と同じように高い評価をいただいている。日々変化する社会状況で、進路について不安を抱える保護者も多いと思われる。今後も保護者に向けての情報提供も多く発信できるように改善を行いたい。
10	学校は、進路講話や職場体験学習などを通して、働くことについて考える機会を作っている。			「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、昨年と同じように高い評価をいただいている。次年度に向けては、本校で実施している進路ガイダンスやインターンシップなどについても、さらに改善して実施できるように今後も取り組んでいきたい。
11	学校は、生徒の希望する進路実現に向けて、個々に応じたきめ細やかな指導をしている。			「よくあてはまる」「ややあてはまる」という肯定的評価が、前年なみであった。進路指導部とクラス担任、ならびにクラス担任と家庭との連携の強化や必要な情報を生徒に還元できるような仕組みなどの改善を進めていきたいと思う。
12	学校は、生徒の健康・安全指導に適切に取り組んでいる。	保健	保健	全体平均が3.35と、健康・安全指導に関する評価は概ね良好だといえる。また他の質問項目の値と比較しても特に問題は見られない。
13	生徒は、体力の維持、向上のために、部活動・体育の授業等に積極的に取り組んでいる。		体育指導	全体平均値が3.30と、生徒が運動に親しみ、体力の維持・向上に取り組んでいると感じている保護者が多いことが分かる。年度比較でも、令和4年度が3.29、令和3年度が3.38と、大きな変化はない。
14	学校は、学校生活を送るうえで安全な環境である。		安全指導	全体平均値が3.39と高くなっている。毎月の安全点検など取り組んでいる結果が出ていると思われる。令和3年度が3.34、令和4年度が3.23
15	学校は、生徒の将来の職業に結びつく教科指導に取り組んでいる。	各学科	建築	令和5年度は3.39と令和4年度と変わらず令和3年度と比較すると高くなっていることから、実習等の教科指導が将来の職業に結びつく取り組みになっていることがうかがえる。
			機械電気	ポイントはR4年度とは変わらず、R3年度と比較するとポイントはプラスであることから、教科指導が将来の職業に結びつく取組になってきていることがうかがえる。実習や課題研究発表、工業技術基礎での機械と電気の特徴を意識して取り組んでいることの効果が出てきていると考える。

(参考資料)

令和5年度 保護者アンケート【分析結果】

	質問	部 / 科	係	分析結果
16	学校は、実習などを通して、ものづくりへの興味・関心を高める指導をしている。	各学科	建築	令和3年度から令和5年度へとポイントは増加していることから、実習等を通してものづくりへの興味・関心を高める指導はできていると思う。
			機械電気	R3年度からR5年度は0.14ポイント増加していることから、ものづくりの興味・関心を高める取組は工業技術基礎や実習、課題研究を通して形ができてきていることが分かる。
17	学校は、生徒の資格取得のための積極的な指導をしている。	教務	学習検定	積極的な指導はR4年度より、0.14ポイントマイナスだが、働き方改革により朝・夕の時間確保がとりづらくなっている現状が影響しているのではないかと考える。その代わり、ものづくりへの興味・関心を高める指導に関してはポイントが増加しており、限られた時間で取組を工夫していることの効果がうかがえる。
18	学校は、特色を生かした教育活動の実践のため、地域行事等に積極的に参加している。		教務	地域と連携する行事企画は専門高校である本校の特色で、例年の保護者の高い評価をいただく項目であるが、今年度も昨年同様評価が低いままである。しかしながら、今年度は感染症拡大前の学校行事に戻っているため、来年度より一層「地域や保護者に開かれた」内容になるように、職員一丸となって取り組んでいく必要がある。
19	学校は、LHRなどを通して、人権について考える機会を作っている。	教務	人権 育同 和教	ほとんどの保護者が「人権について考える機会を作っている」と回答している。この結果は、年間3回の統一LHRを実施していることやその内容が保護者にも伝わっているという表れだと思いたい。現在の状況は維持しながら、より生徒が人権・同和教育について学ぶ機会を設定したい。
20	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている。		教務	過去2年と比較すると平均値は上昇している。紙媒体だけでなく、学校HP・Instagram・安心安全メールの更新・発信をすることで情報提供をする機会が多くなったためだと考えられるが、生徒便より配付物が届かない家庭は一定数あり、固定化されているので、保護者へ直接に情報発信する手段はより活用していきたい。